



SOCIETAS
NEUROLOGICA
JAPONICA
Founded in 1960

第56回日本神経学会学術大会

56 th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology

ランチョンセミナー3 LS-03

Luncheon Seminar

2015年 5月20日 水 12:05-13:05

第3会場

朱鷺メッセ 2F[201号室]

Room3(2nd Fl, 201), Toki Messe

〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号

座長 Chair

阿部 康二 先生 Koji Abe

岡山大学 脳神経内科学 教授

Professor, Department of Neurology, Okayama University Medical School

講演 1 Speaker

パーキンソン症候群の診療における
ドパミントランスポーターイメージングの役割

Role of dopamine transporter imaging in clinical practice of parkinsonism

大山 彦光 先生 Genko Oyama

順天堂大学医学部 脳神経内科 准教授

Associate Professor, Department of Neurology, Juntendo University School of Medicine

講演 2 Speaker

レビー小体型認知症診療における
ドパミントランスポーターイメージングの有用性

Usefulness of Dopamine Transporter Imaging
in Clinical Practice of Dementia with Lewy Bodies

石井 賢二 先生 Kenji Ishii

東京都健康長寿医療センター研究所 神経画像研究チーム 研究部長

Thema Leader, Diagnostic Neuroimaging Research,
Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology

本学術大会共催セミナーは整理券制です。事前予約は、大会ホームページよりお申込みください。

共 催

第56回日本神経学会学術大会、
日本脳神経核医学研究会 / 日本核医学会
日本メジフィジックス株式会社

nihon
medi+physics

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、日本核医学会の分科会として、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的として平成12年11月3日に発足しました。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科など臨床診療に携わる医師、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、さまざまな課題に対応するために、ワーキンググループを設置して議論を深めていく予定です。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。

この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

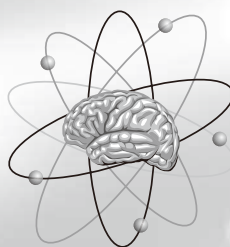
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN